

第 80 回 灘校文化祭「POLARIS」

ONE PIECE サークル 部誌



目次

はじめに	1 ページ
「胸に刺さるワンピースの知られざる名台詞」	2 ページ
「ワンピース シャーロット家しようかい」	6 ページ
ワンピース 「“ひとつなぎの大秘宝”とは何か」	9 ページ
おわりに	15 ページ

2026/5/2, 3

はじめに

この度は ONE PIECE サークルのブースにお越しくださり、そしてこの部誌を手
に取っていただき、ありがとうございます。今年度から ONE PIECE サークルを立
ち上げ、このサークルの責任者をしている、高3の縣（あがた）です。

僕は中1のとき、友人から勧められて「ONE PIECE」に出会いました。読み始
めるとすぐにドハマリし、すっかり ONE PIECE の大ファンになりました。そのう
ち「灘の文化祭には『コナンサークル』や『ドラえもん同好会』はあるのに、名実
ともに日本一の漫画である『ONE PIECE』のサークルがないのはおかしいだろ」

と思うようになり、そして高3になり最後の文化祭となる今年、自らの手で

「ONE PIECE サークル」を立ち上げようと決断しました。

ブースの展示やこの部誌を通して、より多くの人に ONE PIECE の面白さを伝え
ることができれば幸いです。ブースや部誌の内容についてご質問やご意見がありま
したら、いつでも気軽に部員にお声かけください。

それでは ONE PIECE 愛にあふれた部員たちによる部誌をどうぞお楽しみくださ
い！（ネタバレにはご注意ください）

胸に刺さるワンピースの知られざる名台詞

青柳 暁

・まえがき

本記事では『ONE PEICE』の中でもあまり知られていない名台詞に注目しまとめたものです。何気ない場面やモブの言葉の中にも胸を打つような台詞はたくさんあります。今回の記事ではそんな”隠れた名言”を集めその魅力を紹介しています。

是非尾田先生の巧みなワードチョイスとそのセンスを感じてください。

①災難でモンはたたみかけるのが世の常だ 言い訳したらどなたか助けてくれんのか？

—ロロノア・ゾロ—

これは第 484 話 “麦わらの一味・海賊狩りのゾロ”でのゾロの言葉です。ゲッコーモリアを一味全員で満身創痕になりながら倒したあと、勝利の余韻に浸っているときもう一人の七武海 “バーソロミューくま” が現れ全員を殺そうとしてきたときに先陣を切ってくまに立ち向かったゾロが放った言葉。周りが絶望し災難が立て続けに降りかかる中、言い訳せず立ち向かう勇敢な精神を表現しています。こんなことが言える胆力がカッコいい。ゾロの名言は多すぎるがこれは特に痺れます。

②笑われて行こうじゃねェか高みを目指せば出す拳の見つからねェケンカもあるもん だ!!!!

—マーシャル・D・ティーチ—

これは第 225 話 “人の夢” での黒ひげことマーシャル・D・ティーチの一言。空島についてルフィ達が町の酒場で尋ねて回っていた際、空島という“架空”の島を信じているルフィをベラミー海賊団に嘲笑され喧嘩になりました。しかし、自分のロマンを笑われたルフィはどんなに殴られても無抵抗を貫きました。その場面を見ていた黒ひげは、人の夢を馬鹿にしたベラミーをみてこの言葉を放ちました。夢を持って海へ出る海賊らしいカッコいい一言です。夢を持ちロマンを抱くことは周りに笑われる事かもしれないが、自分の追う夢に誇りをもつべきなのではないでしょうか。どうしようもないケンカを受け流せる強さを持ちたいものです。

③あなたねェ死んだこともないのに偉そうに!! 死んで怨みを残す!!? バカバカしい!!何も残りませんよ!! 生物皆!! 死んだら骨だけ!!!
—ブルック—

この言葉は第 645 話 “死もまた復讐” でのブルックの言葉です。「戦いに死ねん奴らは今ここで!!俺の手で死に人間への怨みを残せ!!!」と味方に言い放つゼオに対してブルックが放った言葉。人間への怨みを残して死ぬという傲慢な思想に対して、死んでも何も残らずただの犬死になってしまうという当たり前の事をストレートに伝えるカッコよさには痺れません。あと説得力が違う。

④俺がなるって決めたんだからその為に戦って死ぬんなら別にいい
—モンキー・D・ルフィ—

これは第 2 話 “その男麦わらのルフィ” でのルフィの言葉です。海賊王になるというルフィの夢を聞いたコビーに、死んでしまうのではないか、無理なのではと言われたルフィが答えた言葉。自分の夢をかなえるためには命をも厭わないというルフィの意志の強さの表れです。カッコいい。

⑤誰にでもできる事とできねェ事がある〈中略〉最悪の事態には 必ずそれ相応のチャンスが眠ってるもんだ〈中略〉お前にできねェ事は俺がやる 俺にできねェ事をお前がやれ!!!!
—ヴィンスモーク・サンジ—

これは第 414 話 “サンジ VS ジャブラ” でのサンジの言葉です。CP9 のジャブラに惨敗して落ち込むソゲキングことウソップに対してサンジが放った一言。戦いが得意ではないウソップに対してウソップがロビン救出の鍵を握っていることに気付かせ立ち上がらせる。自分のできる事をできる範囲でやればいい、そのために仲間がいるというサンジの優しさを最大限に表現した言葉です。やはり紳士なサンジもいいですがこういう仲間思いで優しいサンジもカッコいいですね。

⑥正義なんてのは立場によって 形を変える—だからお前の“正義”責めやしない
—クザン—

これは第 397 話 “未来へ届くように“ でのクザンの言葉です。オハラ of 学者たちの”行き過ぎた研究“によって発動されたバスターコールに対し、サウロは海軍の攻撃を妨害します。そこへクザンが登場して放ったのがこの一言です。クザンは今後の世界のためには仕方がないとしつつも、サウロのオハラ of 研究者に罪はないという立場を認め相対していました。また、この言葉は現実にも通ずるところがあるのではないのでしょうか。正義は人によって違うのだから、その人の正義を誰かが否定することは間違っている。クザンの気息そうにしていながらも、胸の内に秘めた熱い人生観がよくわかる台詞です。

⑦命を懸けて友達を助ける友達を…見捨てて明日食う飯が美味ェかよ!!!!

—ボン・クレー—

これは第 215 話 “Last Walts”でのボンちゃん of 言葉。海軍に追われ沈められそうになる麦わらの一味が、仲間(ビビ)との約束の為に逃げない姿を見て放った一言。なによりも仲間を大切にするボンちゃんはその後、麦わらの一味のために自分が囮として捕まってしまう。言葉のカッコよさもそうですがとにかく語感がいい。普通なら「見捨てて」で切るところを「友達を」で切る尾田先生のセンスには脱帽せざるを得ません。

⑧異形を恐れるは己の無知ゆえ!!

—光月おでん—

これは第 963 話 “侍になる” でのおでんの放った言葉。ミンク族や魚人族を見たことがなかったワノ国の人々は浜に打ち上げられた、幼いイヌアラシやネコマムシ、河松を見て妖怪や化け猫等とのしりぞにしました。それを見たおでんが放ったのがこの台詞です。自分達とは姿形の違うものを異形と片付けることなく、自分の無知を疑う。自分の無知を知っているおでんだからこそ言えることばでしょう。馬鹿に思えるおでんの知的さが垣間見える素晴らしい台詞です。

⑨迷惑!! 生きるとは確かにそうじゃ!! …!!お前を愛した人間の数だけ!! お前の死は迷惑である!!

—Dr.ベガパンク—

これは第 1102 話 “くまの人生” でのベガパンク of 言葉。くまの自我を消し完全にサイボーグにする直前、くまの記憶を複製した際、くまの「これがおれの”人生”か…どれだけの人に迷惑をかけたろう」という言葉に返した言葉。くまを実質的に殺す自分を全く恨ま

ず、他人を心配するくまに対しその人生を肯定する言葉。またくまを殺してしまう自分の精神を保つために苦し紛れに放った言葉とも読み取れる。最高すぎる!!!!

⑩縛られるな馬鹿め!! 「今を生きろ」と教えた筈じゃ!! —モンキー・D・ガープ—

これは第 1081 話 “黒ひげ海賊団 10 番船船長クザン” でのガープの言葉です。クザンの「愛弟子を救うためかつての一番弟子を殺せんのか!?!」という挑発に対して放った言葉です。クザンに対して叱責せずにこの言葉を放てるガープさんはほんとにロックな男だなと思いました。普通に生きていてこの言葉を返せるとは思えないですが、ガープさんが一番いそような言葉をしっかりとチョイスしてくる尾田先生のセンスがすごいなと思います。

⑪失ったものは大きく得たものはない—だがこれは前進である!!戦った相手が誰であろうとも戦いは今起り今終わったのだ!!過去を無きものになど誰にもできはしない!!!……この戦争の上に立ち!!! 生きてみせよ!!!!アラバスタ王国よ!!!!

—ネフェルタリ・コブラ—

これは第 211 話 “王” でのコブラ王の言葉です。クロコダイルの陰謀に騙され国王に反乱してしまった国民は、ルフィらによってクロコダイルが倒されたことにより戦争が終わり自分たちが騙されたとはいえ国王に刃を向けたことを悔やみます。そこへ体中傷だらけになったコブラ王が出てきてこの演説をしました。僕自身この演説を初めて読んだとき深く身震いしたのを覚えています。どれほど悔やんだとしても、過去は消えないがそれでも生きることの意味があるという生きる希望を与えてくれるようなそんな台詞です。

・あとがき

本当はもっと知ってほしい名言はあるのですが、そこは自分の目で読んで心で感じてほしいなと思います。ワンピース以外にも漫画にはたくさん名言があります。しかし尾田先生のワードチョイスは漫画家のなかでもずば抜けていると思います。僕自身最近ワンピースは迷走しがちなイメージがありましたが、読み返してみるとやっぱり面白いなと再確認させられました。これを機に食わず嫌いしていた方には是非ワンピースを読んで感動してほしいと思います。

ワンピース シャーロット家しようかい

作まかまか

ワンピースの漫画の中で有名な一家としてシャーロット家がある。ものすごく人数が多いのでその中で特に好きなものを挙げてみた。

・シャーロット・リンリン(ビッグマム) シャーロット海賊団船長

万国(トットランド)王女 旧四皇 悪魔の実 「ソルソルの実」

カイドウ、エドワード・ニューゲート、シャンクスにならぶ四皇であるビッグマムはソルソルの実の能力によって相手が少しでもおびえたりしてしまったら相手の魂(寿命)をつかみ少し操る能力があった。これにより部下たちはビッグマムの機嫌を取るようになった。しかし発動条件が相手に自分の声を直接聞かせることであったり、まず相手が恐れなといけないのでロー、ジンベエ、キッドには効かなかった。

そしてアニメ「ワノ国」編でローの凧(リ・ルーム・サイレント)により声を封じられた後に、覚醒したキッドによる電磁砲(ダムドパンク)で島の最下層にまで落とされてマグマに落ち死亡した。

・シャーロット・カタクリ シャーロット海賊団最高幹部

悪魔の実 「モチモチの実」

シャーロット海賊団の中でも最強レベルの実力を持つ。見聞色と武装色と霸王色すべてを使うことができ、当時最強形態であるルフィのスネイクマンの攻撃(ブラックマンバ)もほとんどよけた。しかし最終的に妹のブリュレの妨害により結果的にルフィに負けた。

・シャーロット・ブリュレ

悪魔の実 「ミラミラの実」

ビッグマムの娘でありミラミラの実の能力者。能力によって相手の攻撃を反射したり、鏡の中の世界を出入りすることができたり、相手の姿を変えたり自分の姿を変えたりすることができる。顔に大きな傷を持ちそれがコンプレックスで、美人などの顔を見ると引き裂きたくなる衝動に駆られてしまうことも。

・シャーロット・クラッカー ビッグマム海賊団大幹部

悪魔の実 「ビスビスの実」

万国でビスケット大臣を務めている。武装色と見聞色を使うことができ、また能力によって無限にビスケット兵を創造することができる。しかしクラッカー自身が

まとっている鎧よりは圧倒的に強度が低いために、そこが弱点。また最初にルフィたちを苦戦させる強さを見せたが、クザンに対しては一瞬でやられてしまうほどに弱かった。

・シャーロット・プリン ビッグマム海賊団団員

ウインスマーク・サンジの婚約者 悪魔の実 「メモメモの実」

サンジの婚約者でそのことがきっかけでホールケーキアイランド編で大変な問題になった。相手の記憶を映画のフィルムのように抜き取ることができ、また、新たに全く違う記憶を入れることもできる。また、三つ目族とのハーフでありアニメや漫画では本気を出したときや、怒ったときに三つ目の目を開眼していた。

僕はクラッカーが好きなのでシャーロット家について書きました。

“^ワ ^ン ^ビ ^ー ^スひとつなぎの大秘宝”とは何か

縣 洸佑

1. はじめに

「バカげた理屈だと人は笑うだろうが 結構じゃねェか!!

それでこそ!! “ロマン”だ!!!!」

これは「ONE PIECE 第 235 話 “^{ノックアップストリーム}突き上げる海流”」でのモンブラン・クリケットの台詞だ。僕は Youtube で ONE PIECE 考察系の動画をよく目にするが、最近「このキャラの元ネタは～」や「この描写はある神話がモチーフとなっていて～」といった、小難しくこじつけのような考察が増えているように感じる。しかし今回僕はそういった小難しい考察ではなく、とにかく“ロマン”を追い求めたオリジナルの考察を紹介しようと思う。

2. 考察

今回僕が紹介する考察は、単刀直入に言うと

「“^ワ ^ン ^ビ ^ー ^スひとつなぎの大秘宝”とは『ワンピース』である説

である。

これからこの説について順序立てて解説していこうと思う。

① “ひとつなぎの大秘宝”の基本情報

“ひとつなぎの大秘宝”とは、“海賊王”ゴール・D・ロジャーが遺した財宝で、これは4つの“ロード歴史の本文”により導かれる、最後の島“ラフテル”にあると言われている。“ラフテル”にたどり着いたのは歴史上“ロジャー海賊団”だけで、彼らはそこで実際に“ジョイボーイ”が遺した“莫大な宝”を目の前にして、涙が出る程笑ったそうだ。すなわち“ひとつなぎの大秘宝”とは、ロジャーが見つけた「“ジョイボーイ”が遺した“莫大な宝”」のことである。“ひとつなぎの大秘宝”について作中で判明している主な情報はこれだけだ。また尾田先生は明石家さんまさんとの対談の中で、“ひとつなぎの大秘宝”とは概念的なものではなく、「**実体のある物**」である、といった発言をしている。

② “ひとつなぎの大秘宝”の正体

僕は上の情報を踏まえて

「“ひとつなぎの大秘宝”とは『洋服のワンピース』である」

という仮説を立てた。ワンピースは上下がひとつなぎになった洋服だし、ダジャレ好きな尾田先生ならこんな結末でもおかしくないと思う。

これからこの仮説を軸に考察を進めていこうと思う。

③ “ラフテル”の正体

“ジョイボーイ”について作中で判明している主な情報は以下のようである。

- ・ 900 年前に高度な文明を持つ王国に生まれ伸縮する体で戦い、
世界で初めて“海賊”と呼ばれた、ということ
- ・ 人魚姫に対する謝罪文を“歴史の本文”^{ボーン・ネグリフ}として残していること
- ・ “世界政府”の前身となる 20 の王国の連合軍との戦いに敗北したこと

これらの情報から、ジョイボーイは世界中を冒険する中で、人魚姫と出会って恋に落ち、「結婚」を約束したが、連合軍との戦いで敗北により結婚の約束を果たせなかった彼は、人魚姫に向けた謝罪文を残したのではないだろうか。そして彼は二人が結婚式を挙げる予定だった場所に、人魚姫に対するせめてものお詫びとして、自らの持つ「ありったけの財宝」を遺したのではないかと僕は推測した。

すなわち、ラフテルとは

「“ジョイボーイ”と“人魚姫”のための巨大な結婚式場」

であり、そこには

“人魚姫”の「ウエディングドレス」である「巨大なワンピース」と

かつて“ジョイボーイ”が持っていた「ありったけの財宝」

が遺されているのではないだろうか。

尾田先生は過去に新聞のインタビューで、物語の最後は「大宴会」で終わりたい、といった発言をされていた。「巨大な結婚式場」というのは「大宴会」をするのにはぴったりな場所だと思う。また「ONE PIECE 第 968 話 “おでんの帰還”」での「俺たちは…早すぎたんだ」というロジャーの発言も、“ラフテル”は人魚姫のための場所で、ロジャーが“ラフテル”に到達した時にはまだ“人魚姫”が生まれていなかったため、ロジャーは「早すぎた」という表現をしたのではないだろうか。

ロジャー達も探していたお宝がまさかの「洋服」だった、というあまりのしょうもなさには笑うしかなかったのではないだろうか。

また僕は、“ラフテル”の場所について

“ラフテル”は「フロリアントライアングル魔の三角地帯」にある

と考えている。根拠としては以下の3点が挙げられる。

・「劇場版 ONE PIECE スタンピード STAMPEDE」において“ラフテル”への“エターナルポース永久指針”が登場していることから、“ラフテル”は“グランドライン偉大なる航路”に存在している可能性が高いということ

・“フロリアントライアングル魔の三角地帯”は毎年 100 隻以上の船が消息不明になる海域であること

・「ONE PIECE 第 490 話 “再び辿りつく”」の中で、“^{フロリアントライアングル}魔の三角地帯”において霧に包まれた怪しい影と「不気味な 2 つの光」の描写があったこと

これらの理由から、“ラフテル”は“^{フロリアントライアングル}魔の三角地帯”にあり、“ジョイボーイ”が生まれた王国の高度な文明によって生み出された「ロボット」により警護されているのではと僕は考えた。「不気味な 2 つの光」はこの「ロボット」の眼光であり、そう考えると、「ロボット」の警護と“^{フロリアントライアングル}魔の三角地帯”という海域の危険性によって、並大抵の海賊ではたまたま“ラフテル”に到達することなどはできず、いまだ“ロジャー海賊団”しかたどり着けていないことにも納得がいく。また、“ラフテル”が“人魚姫”のための結婚式場であるならば、“ラフテル”は“^{フロリアントライアングル}魔の三角地帯”の中でも、その**深海部**に存在している可能性もあるだろう。

④ ルフィの“夢の果て”について

最後に“^{ワンピ}ひとつなぎの大秘宝”とルフィの“夢の果て”との繋がりを考察して終わりにしたいと思う。

将来ルフィ達が住む“青色の星”を冒険しつくし、夢の“海賊王”になったルフィは、その先の“夢の果て”として何を望むのか。

「宇宙を冒険したい」

そう思うのではないだろうか。これはルフィの“夢の果て”を知ったエース、サボ、そして“麦わらの一味”の反応と照らし合わせてみても、不自然ではないと思う。

また、“ジョイボーイ”が生まれた王国が持つ高度な文明が、扉絵連載「エネルのスペース大作戦」に登場する“月の人”や“月の都市”などと関係があると仮定すると、“ジョイボーイ”が“ラフテル”に残した莫大な財宝の中には

“月”と“青色の星”の間を行き来する「ロケット」

のようなものがあったもおかしくないと思う。“ラフテル”にたどり着いた“麦わらの一味”はその「ロケット」に乗って、「宇宙での冒険」に出発し、「ONE PIECE」という物語は幕を閉じるのではないだろうか。

3. まとめ

今回はページ数の関係もあり、「^ワ「^ンひとつ^ダなぎの大秘宝^ス」の正体」に絞って考察したが、他にも“空白の100年”、“太陽の神 ニカ”、“Dの一族”、“古代兵器”など、まだまだ考察の余地は数えきれないほど残されている。このように考えれば考えるほど新たな謎が見つかっていくというところに ONE PIECE 考察の面白さがあると思う。今回僕が紹介した考察に対して反論したり、残された謎について考えたりして、ぜひ皆さん自身で ONE PIECE 考察の楽しさを実感してみてほしい。

終わりに

最後まで「ONE PIECE サークル 部誌」をお読みいただきありがとうございます。当サークルは前に述べた通り今年度から新設されたサークルであるため、右も左もわからず模索続きで、ブースの展示や部誌も拙いものになってしまったとは思いますが、楽しんでいただけていたら幸いです。

僕はこのサークルを立ち上げた当初「ONE PIECE は日本一のマンガだし、すぐにたくさん部員が集まるだろう」と思っていました。でも入ってくれた後輩は執筆時点で3人しかいませんでした。同級生を勧誘しても「読んだことない」や「途中でしか読んでない」などと言われ、「ONE PIECE はその物語の長さゆえにその面白さが伝わり切っていない」ということを実感しました。そこで僕は、「ONE PIECE の面白さを少しでも多くの人に伝えたい」という思いで、今回の文化祭での活動に取り組んできました。

今年は初年度なので限られた活動しかできませんでしたが、今後もっと部員が増え、来場者の皆さんも参加できるような「ONE PIECE クイズ大会」といった企画なども行えるようになることを期待しています。来年以降このサークルが存続するかはわかりませんが、これからも ONE PIECE サークルをよろしく願います。